コミュニティ・スクールにおける熟議について

「熟議」とは、よりよい集団（学校）生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうというものです。
具体的には、下記のようなプロセスを通して行われた意見交流を指します。

具体的なプロセス（例）

1．**多くの当事者**（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
2．**課題について学習・熟慮**し、議論をすることにより、
3．互いの**立場や果たすべき役割への理解**が深まるとともに、
4．それぞれの**役割に応じた解決策が洗練**され、
5．個々人が**納得して自分の役割を果たす**ようになる

【熟議】の進め方の例　（約60分）

熟議のテーマ（例）

- 子どもたちがどう育ってほしいか
- 学校と地域が一緒にやれることは
- いじめを撲滅するには
- 下校時の安全をどう確保するか
- 学力を向上させるには
- 教育に地域の力をどう生かすか
- 学校と地域の合同運動会について
- あいさつ日本一の町を目指すために
- 地域に貢献できることは
- 郷土学習で何を伝えるか
- メディアとのつきあい方
- 地域の防災について

①　オリエンテーション	５分	なぜ、熟議開催に至ったかを改めて確認する。
②　テーマに関わる資料の共有	５分	テーマについての知識・背景を共有する。
③　熟議（前半）	20分	自己紹介→意見（思い）をたくさん出す（付箋を利用）。
④　熟議（後半）	25分	前半で出た意見について、方向性をもって話し合う。
⑤　グループごとの発表	３分	各グループの意見をまとめ、他のグループと交流する。
⑥　終わりの挨拶	２分	今後の話し合いの場についての確認をする。

参考　山口県　「令和５年度地域連携教育再加速フォーラム」熟議の様子が視聴できます。
https://www.youtube.com/watch?v=BE3pnHoVldk

熟議の進行シナリオ例

今回の熟議はテーマを「災害に強いまちづくり」としておりますが、**学校や地域の実情に合わせてテーマや内容を修正**するなど、適宜活用をお願いします。

経過（分）	場面	担　当	進行シナリオ
00	1.オリエンテーション	会場担当	■　テーマ設定の説明 これから熟議を行います。熟議のテーマは**「災害に強いまちづくり」**です。 本日の熟議のゴールは、**「災害に強いまちづくり」**について考え、明日からの行動につなげていくことです。 **「災害に強いまちづくり」**は、近年頻発する自然災害への対策として、地域の安全と持続可能性を確保するために重要です。 地域と学校が一体となって取り組むことで、より効果的な災害対策を実現し、次世代に安全で安心な地域を引き継ぐことが可能になると考え、このテーマを設定しました。
05	2.テーマに関わる資料の共有	会場担当	近年の岩手県では、台風や豪雨による洪水や土砂災害が頻発しています。また、地震や津波のリスクも依然として高く、特に沿岸部では防災対策が重要視されています。これらの災害に対し、地域全体での防災意識向上や迅速な対応が求められています。 ※　県のハザードマップ等の活用 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kasensabou/kasen/bousai/1063250/1063251.html
10	3.熟議（前半）熟議の準備	会場担当	■　約束の確認 ここで、**熟議の約束について確認**します。 ⑴　発言は、簡潔にわかりやすく伝えましょう。 ⑵　一回の発言で言いたいことは一つだけにしましょう。 ⑶　人を傷つけない発言を心がけましょう。 ⑷　他の人の発言をよく聴きましょう。 ⑸（大人の方は、児童生徒の考えや意見を大切にしましょう。） ※　児童生徒が参加する場合 以上のことを心がけて下さいますようお願いします。なお、熟議のはじまりと終わりは、担当者のアナウンスでそろえます。 ■　アイスブレイク はじめに、グループのメンバーで打ち解け合うために、アイスブレイクをします。 メニューは「ヒーローインタビューゲーム」です。 まず２人でペアを組み、一方がヒーロー、もう一方がインタビュアーになります。そして、インタビュアーはヒーローの成功経験や印象に残った出来事などを聞き出していくのです。 よろしいでしょうか。それでは、各グループではじめてください。（３分程度実施） 終わります。それでは、熟議に入ります。

経過（分）	場面	担　当	進行シナリオ
15	3.熟議 （前半） 熟議の準備	会場担当	■　ファシリテーターの選出 適宜　グループの中からファシリテーターを選出する。 ファシリテーターの皆さんは進行をお願いします。 それでは、はじめてください。 ファシリテーターの皆様へ ○　まずは、参加者が話しやすくなるような雰囲気づくりを意識しましょう。 ○　時間配分について、一応の目安は示していますが、各グループの流れに任せます。 ○　ファシリテーターの方も、発表してください。それぞれの立場や意見の違う意見から生み出される新しい発見を楽しみましょう。
16	熟議 （前半） 付箋 マジック 模造紙等	ファシリ	このグループのファシリテーターを務める○○です。 熟議のポイントは、それぞれの意見をうなずきながら笑顔で聞くことと、一人ひとりが時間を意識して話すことです。 お互いが気持ちよく話せるよう、皆さんで協力しましょう。 「災害に強いまちづくり」の課題を考え、発表する。 それでは、今の地域や社会の課題を考え、発表していきます。 考えがまとまりましたら、付箋にその考えをなるべく短い言葉で書いてください。 ■　意見の記入（各自） 付箋は一つの考えにつき１枚使用します。それでは、付箋への記入をお願いします。 ・・・・・付箋に記入・・・・・（３分程度） それでは、発表をします。発表は一人ひとつずつです。 ■　意見の交流（グループ内） それでは、どなたからでも構いませんので、発表をお願いします。 ・・・・・発表・・・・・(10 分程度） ■　グルーピング（キーワードで整理する） ここでは、出された意見を、課題ごとに整理します。 付箋に書いた内容を課題ごとに整理して模造紙に貼りましょう。 ・・・・・付箋の整理・・・・・（３分程度） 次に、課題ごとのまとまりに、タイトル（キーワード）を付け模造紙に記入しましょう。 ・・・・・タイトル（キーワード）の記入・・・・・（４分程度）
30	4.熟議 （後半）	ファシリ	「災害に強いまちづくり」について、私たちができること（行動） ここからは、「災害に強いまちづくり」に向けて、私たちができること（行動）」を考えていきます。 まずは、先程グルーピングした課題の中から、解決したい課題を一つ選びたいと思います。 私たちのグループは、どれにしますか。

経過（分）	場面	担　当	進行シナリオ
45	4.熟議（後半）	ファシリ	（実践的な訓練、防災教育の充実、地域コミュニティの強化等の課題が出され、地域コミュニティの強化がグループの課題となった場合） ■　選択したキーワードについての意見交流（グループ内） それでは、**「地域コミュニティの強化」**について、私たちができること（行動）を話し合っていきましょう。 意見は、模造紙に整理していきます。付箋を使ってもよいし、マジックで直接書き込んでもよいです。 どなたからでも構いませんので、発表をお願いします。 **・・・・・発表・・・・・（10 分程度）** 残り５分ほどになりました。まとめに入ってください。 終了後、隣のグループと交流を行います。
55	5.グループごとの発表	ファシリ	■　隣のグループとの交流（感想・質疑応答） これから、**話し合われた内容の交流**をします。 隣同士のグループで、話し合ったことを発表してください。 発表時間は３分間です。発表が終わったら、交代してください。３分経過のアナウンスを待つ必要はありません。 両グループの発表が終わりましたら、終了の声がかかるまで、質疑応答を行ったり、感想を交流し合ったりしてください。 それでは、始めて下さい。 **・・・・・交流①（Ａグループの発表）・・・・・** **・・・・・交流②（Ｂグループの発表）・・・・・** それでは、時間になりましたので、話をやめて下さい。
58	6.終わりの挨拶	会場担当	■　振り返り 本日は活発なご議論をありがとうございました。 （熟議の様子について感想を簡単に述べる。） みなさん、今日熟議に参加したお互いを称え、拍手をしましょう。 次回は〇月〇日〇曜日に開催予定ですので、ぜひご参加ください。 引き続きよろしくお願いいたします。